

令和4年度外来種対策事業

報 告 書

令和5年3月

沖縄県 環境部 自然保護課

－ 目 次 －

1. 事業概要	1
2. 行動計画の進捗管理	4
2-1. 行動計画の概要	4
2-2. 行動計画の進捗管理	5
3. 行動計画の評価等の検討	9
3-1. 行動計画の中間評価	9
3-2. ロジックモデル（案）	11
3-3. 今後のスケジュール等	17
4. 情報収集・情報発信	19
4-1. ネットワークの構築（情報収集）	19
4-2. 外来種リストの更新・見直し	24
4-3. 参考資料	31
5. ホームページの作成	47
5-1. 今年度の実施状況	47
5-2. 次年度更新案	53
6. 外来種状況調査	55
6-1. 外来種状況調査の概要	55
6-2. 港湾地区・基地周辺等における外来種侵入状況調査	55
6-3. 生態系等の影響調査（石垣島における水生生物調査）	66
6-4. 生態系等の影響調査（沖縄島北部と久米島におけるウシガエルの調査）	70
7. 普及啓発	73
7-1. 概要	73
7-2. 県民全般	73
7-3. 学校等	89
7-4. ペットショップ・園芸ショップ等	104
7-5. 農林水産業従事者	108
7-6. 意図的外来種（外来植物）	111
7-7. 運輸関連従事者（非意図的外来種）	115
8. 外来種対策シンポジウムの企画及び運営等（沖縄復帰 50 周年記念事業）	117
8-1. 開催概要	117
8-2. 周知	118
8-3. 開催結果	118
9. 検討委員会の設置・運営	123
9-1. 令和 4 年度外来種対策事業 検討委員会の設置	123
9-2. 第 1 回外来種対策事業 検討委員会の開催	125
9-3. 第 2 回外来種対策事業 検討委員会の開催	131
10. 今年度の成果概要	136

1. 事業概要

1-1. 事業目的

沖縄県が平成 21 年度に策定・公表した「沖縄 21 世紀ビジョン」では、めざすべき将来像として、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島」を目標の 1 つとしており、多くの固有種や希少種が生息する生物多様性に富んだ自然環境が守られていることを県民が望む将来の姿としている。しかしながら、県内においては、既に様々な外来種が侵入し、一部定着が確認されている。それらの状況を踏まえ、令和元年度までに、「沖縄県外来種対策指針」（以下「指針」という。）、「沖縄県対策外来種リスト」（以下「外来種リスト」という。）及び「沖縄県外来種対策行動計画」（以下「行動計画」という。）を策定し、本県の外来種対策を推進している。

本業務は、行動計画の進捗状況確認・見直しに向けた中間評価、外来種による生態系への影響に係る調査、普及啓発等の実施及び外来種対策シンポジウムの開催により、広く県民に啓発することで外来種対策を推進することを目的とした。

1-2. 事業期間

令和 4 年 4 月 8 日～令和 5 年 3 月 24 日

1-3. 実施地域

業務実施地域は、沖縄県内で実施した。

1-4. 発注者

沖縄県 環境部 自然保護課

1-5. 請負者

一般財団法人沖縄県環境科学センター・株式会社島嶼生物研究所 共同企業体

- ・代表構成員：一般財団法人沖縄県環境科学センター 代表理事 福村 圭介
- ・構 成 員：株式会社島嶼生物研究所 代表取締役 河内 紀浩

1-6. 事業内容

本事業では、行動計画にかかる以下の取組を実施した。

項目	概要
行動計画の進捗管理	行動計画で定めた進捗管理項目について、今年度の実施状況を確認した。
行動計画の評価等	行動計画等の中間評価を行うとともに、次期計画に向けた検討を行った。
情報収集・情報発信	情報収集・情報発信の取組として、外来種に関するネットワークの構築、外来種リストの見直し検討、その他情報発信を行った。
ホームページの作成	外来種分布状況の情報収集や県民等へ向けた重点対策種等の情報発信等を目的としたホームページを作成した。
外来種状況調査	港湾地区や基地周辺等における外来種侵入状況調査、石垣島における外来水生生物調査、沖縄島北部と久米島におけるウシガエルによる生態系等への影響調査を実施した。
普及啓発	県民の外来種問題への意識向上や、ペットや園芸植物等の適正飼養・栽培を促すため、県民や学校、関係事業者等に対し、普及啓発を行った。これらの取組を実施するために必要なパネルや展示物等を作成した。
外来種対策シンポジウム	沖縄復帰 50 周年記念事業として、令和 4 年 11 月 13 日に沖縄県立博物館・美術館において、外来種対策シンポジウムを開催した。沖縄の生物多様性を見つめ直し、外来種対策の必要性についてより理解を深め、県民一丸となって外来種の侵入・拡散を食い止め生態系を保全していくことを目的とした。
検討委員会の設置・運営	行動計画の各取組の推進状況の確認、外来種リストの見直し等を行うため、専門家を含めた検討委員会を 2 回開催した。

令和4年度外来種対策事業に係る成果概要

【行動計画の進捗管理・評価等】

行動計画の進捗管理

- ・ 県庁関係各課（5部庁15課）に書面ヒアリング
- ・ 行動計画に係る取組内容について、今年度の実施状況を整理

沖縄県外来種対策行動計画

○ 行動計画の位置づけと目的
○ 外来種対策の行動計画
(1) 対策基礎の整備
① 普及啓発 ② 学校等 ③ ペットシヨップ・園芸シヨップ等 ④ 農林水産業従事者
① 県民全般 ② 情報収集・情報発信
(2) 情報収集・情報発信
① ネットワークの構築 ② 分布情報の把握 ③ 外来種リストの見直し ④ 情報発信
(3) 人材育成・技術開発
① 人材育成 ② 技術開発
(2) 侵入の防止（予防）
1) 意図的外来種への対策
① 普及啓発 ② 産業界外来種 ③ 条例等による規制
2) 非意図的外来種への対策
(3) 防除の推進
1) 早期発見と初期防除（重点予防種）
① 早期発見・防除計画の整備 ② 関係者との連携による緊急防除の検討
2) 駆除が困難な種（重点駆除種）

行動計画の中間評価等

【中間評価】

- ・ 令和2～4年度の経年の取組状況と今後の課題を定性的にとりまとめ中間評価
- 【次期行動計画の検討】
- ・ 次期行動計画に向けロジックモデルを検討
- ・ インプット、アウトプット、アウトカム（初期、中間、最終）を整理

【情報収集・情報発信等】

情報収集・情報発信

- 【ネットワークの構築（情報収集）】
- ・ 新たに県内への侵入確認。昆虫1種（ソテツシロカイガラムシ(仮称)）、植物6種
- ・ ホンコンシロアゴガエル（予防種）の発見
- 【外来種リストの更新】
- ・ 外来種リストの見直しと更新（総数は375種類から392種類）
- ・ ノヤギとヤエヤマドボタルを重点対策種に追加
- ・ アライグマを重点予防種から予防種へ変更

ホームページの作成

- ・ 令和4年6月に「沖縄外来種.com」を公開
- ・ 外来種の目撃情報が125件



外来種状況調査

- 【港湾地区・基地周辺】
- ・ 新規に分布拡大等が確認された種はなし
- 【水生生物（石垣島）】
- ・ 比較的希少種への影響が大きいと思われる外来魚は確認なし
- 【ウシガエル調査（沖縄島北部・久米島）】
- ・ ウシガエルの繁殖地は沖縄島北部で1か所、久米島では13か所確認

【普及啓発等】

普及啓発等

- 【県民全般】
- ・ 環境フェアへのブース出展
- ・ 図書館等でのパネル展
- 【学校等】
- ・ 外来種に関する教材等の配布



【ペットシヨップ・園芸シヨップ等】

- ・ 動植物の適切な管理に関する資料配布
- 【農林水産事業者】
- ・ 産業界外来種3種に関する資料配布
- 【運輸関連従事者】
- ・ 非意図的外来種に関する資料作成・配布



外来種対策シンポジウム

- ・ おきなわ外来種シンポジウムの開催（令和4年11月13日、県立博物館・美術館）
- ・ 会場55名、オンライン84名、計139名の参加

